

道

2023・3・15

通信 No 1724



あんず

《本日の練習 6時～8時半》

清水先生 小坂先生 1部

《3月22日（水）6時～8時半》

小坂先生 二宮先生 3部

場所：磯子社会教育コーナー

《 日曜練習 》

日時 3月19日（日） 午後1時～5時 場所 市従会館 1部練習 清水先生 小坂先生

《54周年 演奏曲紹介 イマジン 1部 No2》

1971年に発表されたジョン・レノンの代表作。反戦・平和を願い世界中で愛されています。2006年トリノオリンピックでは、オノ・ヨーコのメッセージとともに合唱されて大きな感動を呼びました。

「一人ひとりが平和を願えば世界は平和になる」この簡単なことがなぜできないのでしょうか。「安全の脅威」に乗じて軍事費を2倍にすれば戦争の惨禍も2倍になることを指導者たちは想像できないのでしょうか。平和への願いを込めて歌います。

尚、この演奏曲紹介はプログラム掲載を目的にしていますので、修正やコメントなどありましたらおしらせください

～ハンデル オラトリオ「メサイア」の思い出～

今から70年も前のことです。当時私は学生で、宗教音楽研究会という合唱団に入っていて、毎週土曜午後「メサイア」の練習に銀座教会へ通っておりました。

いつもは練習の指揮者、遠山信二氏が指導するのですが、その日は本番の指揮者、山田和男氏が来て棒を振りました。

練習を始めて間もなく、彼が烈火の如く怒り出したのです。それは前列にいた女声の一人が、足で拍子をとるのを見たからでした。何小節か休みがあって、次に出るのを数えていたのでしょうか。「俺の指揮を見ていれば、そんなことをする必要がない。指揮を見ていないからだ」という訳です。指揮者のプライドが彼の怒りになったのでしょうか。

「メサイア」は合唱曲が多く暗譜は無理で、楽譜を持ちながら歌いましたが、指揮者を見ることに努め、そうして本番は何とか無事終わりました。

2月22日付「道通信」の記事を読み、遠い昔のことを思い出しました。暗譜は大変でしょうが、暗譜で指揮者の指揮がよく分かりますから頑張ってください。
(増田)

《会議のお知らせ》

3月22日（水）3時00分～

プログラム委員会

県民サポートセンター

※3月23日（木）6時00分～

岡野中学学校開放会議（加藤ま・朝倉き）

※3月28日（火）3時00分～

県立音楽堂との打ち合わせ（石田・加藤ま・朝倉き）

4月5日（水）2時30分～

運営委員会

県民サポートセンター